

## 令和3年度 学力スタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(国語)科目：(現代文B)対象：(第2学年1組～7組)

科目担当者：(1・2・4組:飯塚真奈<sup>印</sup>)(3・5・6・7組:永井 匡<sup>印</sup>)

教科・科目の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語総合」で培った基礎力をもとに、幅広くさまざまな現代の文章を読む。</li> <li>・四領域である「話すこと」、「聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」を正確に行い、様々なもののみかた、考え方を知り、自分の主体的な考え方を形成していく。また、言語感覚を磨き、想像力を豊かにしていくことで、自分の考えを的確に表現できるようにする。</li> </ul>
------------	--

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組みの意識は向上し、書くことへの意識も高まっている。</li> <li>・語彙力がまだ低く、漢字の書き・読みや基本的な語句の意味なども理解していない者も多い。自分がわからない語句などは自分から調べると意識の定着させたい。</li> <li>・文章の読解力が十分でなく、また、理解した内容を表現する力が足りない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと、書くことなど様々な活動を通して学習内容をさらに深く理解させていく。また、聞くこと、話すことの向上に向けて、集中力を切らさずに学習していけるよう、授業で扱う内容を精選する。</li> <li>・要約指導に力を入れ、書く力を含めた総合的な力を養うよう努める。</li> <li>・家庭で辞書を使って意味調べや漢字の書き取りなどの課題を出し、辞書を用いて自ら疑問を解き、言語に対する興味を喚起する。</li> <li>・夏期休業中の課題として、漢字や語句の問題を出すことによって、一人一人の語彙力の向上に努める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 漢字の小テストの実施</li> <li>2 家庭学習の習慣化</li> <li>3 授業規律の確保</li> <li>4 教科会を通しての教員の研鑽</li> <li>5 長期休業中の課題による語彙力の涵養</li> <li>6 感染症対策を考慮に入れながら、グループによる活動も取り入れ、自分の意見と他者の意見を比較検討できるようにする。</li> </ol>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			